

藤原広嗣の乱 天平を揺るがす



藤原広嗣の反乱軍と官軍との戦場になった板櫃川（小倉北区下道津）

皿倉山を源に北九州の八幡、小倉を貫流し響灘に注ぐ板櫃川。ここを舞台に奈良時代の740年9月、時の権勢者・藤原一族の広嗣と官軍による天下を揺るがす戦いが行われた。名付けて藤原広嗣の乱。その痕跡は今もこの地に、また人の心に残っている。

広嗣は聖武天皇時代の730年代に政権を握っていた藤原4兄弟の3男宇合の長子。従五位下大養徳守だった天平10年（738年）12月、大宰小式に任ぜられた。当時、国内は天災による飢饉の続発、天然痘の大流行で人民は苦しみ藤原4兄弟も相次いで没するなど社会不安が増大していた。広嗣は着任2年後の740年8月、藤原兄弟没後の橘諸兄政権の失政が天地災異の原因になっており、諸兄腹心の吉備真備、僧正玄昉の2人を排除すべきだと中央に上表。返答が届かないうちの翌9月3



に吹き返された」と記す。

乱の主因 大宰府左遷に疑問

広嗣反乱の真意は、衰退する藤原勢力の挽回、大宰小式左遷への反発が背景にあった、とする見方が一般的だ。だが仏教史・古代史家田村圓澄氏は「父宇合が大宰帥だったこともあり、広嗣自身は大宰府着任に意欲的だった。だが当時、大宰府は735年に始まる天然痘流行の本源の地であった。残酷な宿命におしひしがれた人々の姿に、悲しみと（時の政治への）憤り

日、大宰府の兵ら1万人をもつて挙兵した。

対して政府側は蝦夷征討の実績のある大野東人を大將軍に任命し全国から約1万7000の兵を動員した追討軍を九州に差し向け、企救郡登美（現在の小倉北区富野）、板櫃、京都郡で反乱兵多数を捕虜として10月、板櫃川兩岸で反乱軍と対峙し、勅使として広嗣に挙兵理由を質した。広嗣は「朝廷の命を拒むつもりはなく、朝廷を乱している真備、玄昉の排除を請うだけである」と答えたが、更なる追及には返答できず、兵の多くが朝廷への賊となるのを恐れて投降し反乱軍は総崩れになった。広嗣も逃亡し10月23日、肥前国松浦郡直島（五島列島）で捕らえられ11月1日、斬刑に処せられた。27歳だった。勅撰史書「続日本紀」は、広嗣は船で九州島まで行ったが強風で接岸出来ず一昼夜後、逆の西風で九州

を深くしたのではなからうか」（大宰府の春―回顧七十年―より）とする。また、当時、大宰帥は宇合の死後空席。上司のから小式の広嗣が事実上の最高指揮官だった。決して左遷ではなかった、とする学者もある。大宰府は乱後の742年1月、突然廃止された（3年後復活）。

大宰府の命によつて全九州の軍が動員され反旗を翻したことへの政府の衝撃の大きさ、苦慮がうかがわれる。

広嗣の慰霊 九州各地で

乱後、地域の人々は民の苦しみを知る広嗣の霊を鎮めようと荒武党明神として板櫃川沿いに祀り、現在は八幡東区の荒生田神社に合祀されている。荒武党は荒生田という名の語源でもある。一方、僧正玄昉は5年後、筑紫観世音寺造管役に配流され翌年、死んだ。弘嗣の怨霊に殺されたと伝えられる。

当時の主戦場の位置も特定できない。地域の人には広嗣は評判が良かったと言われ、みやこ町佐賀県唐津市など各地で祀られています。人々を悪政から守ろうとした姿が尊崇されたのでしよう」と言う。約1300年後の今日もなお神社例大祭、神楽などでその姿を見る。

◆北九州歴史文化塾◆

藤原広嗣の乱

今を去る1270余年前の奈良時代、北九州の地で国を揺るがす藤原広嗣の乱が起きた。主戦場になったとされる板櫃川、近辺のゆかりの地を訪ね、当時の状況を学びます。



藤原広嗣を祀る荒生田神社（八幡東区）裏手を板櫃川が流れる

同神社役員で板櫃川沿いに住む安部浩次さん（85）は「ここはかつて、荒ぶる川と言われ、

※1「続日本紀」
文武天皇の元年（697年）から桓武天皇の延暦10年（791年）まで95年間の歴史を全40巻に収めた編年体の史書。「日本書紀」に次ぐ六国史の第二で、律令制の施行、平城遷都、大宰府設置など当時の大業、天候異変、凶作、災害、疫病の蔓延、謀反などを記録。菅野真道、藤原経縄らの編纂で797年完成した。

テーマ 藤原広嗣の乱 天平を揺るがす

開催日時 1月26日 午後1時～

集合場所 サニーサテライト
(八幡東区川淵町4番20号)

講師 北九州シニア応援団スタッフ

受講料 500円

【参加お申し込み・お問い合わせ】
さくら編集部 ☎ 093-965-6080



荒生田神社
八幡東区川淵町2の11。板櫃川沿いに藤原広嗣を祀る明神社と少彦名命ほかを祀る水神社があったのを、明治政府の一村一社の方針で明治35年に合祀して現在地に造営された。

板櫃川
八幡東区の皿倉山を源にし、八幡東、小倉北区の市街地を貫流して日明港に注ぐ全長9・69kmの二級河川。流域の大半は山地で自然に恵まれ、中流域まで天然アユが遡上する。合戦はこの川を挟んで行われたが、場所は諸説がある。下道津4の川沿いに、案内板で広嗣の乱があったことを紹介している。

西鉄バス北九州 株式会社
×
タイアップ
企画 第3弾
アクティブシニア向け
生活情報誌さくら

アクティブシニア 川柳募集

お題

桜

バスの中
桜トンネル
くぐる幸

お題 「桜」 応募数の制限はありません。

応募方法 はがき・FAX・E-mailでご応募ください。

宛先 本誌31ページでご案内しています。

応募の締切 2018年1月20日必着

選考 西鉄バス北九州と本誌編集部による選考会で1作品を決定いたします。

発表 「西鉄バス北九州賞」として、3月1日より西鉄バス車内のポスターに掲出します。西鉄バス北九州ホームページ、本誌3・4月号、本誌ホームページで発表します。

※西鉄バス北九州賞に選出された作品は、今後西鉄バスのPR物に提出させていただきます。場合がございましたらお問い合わせください。

お問い合わせ さくら編集部 (093) 965-6080

まちに、夢を描こう。 Nishitetsu Group